

【研究課題名】

透析業務におけるエコー下穿刺の教育マニュアル作成と課題

【研究へのご協力のお願い】

研究のため、患者さんの診療情報を使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。研究成果は、医学の発展に役立つように学会や学術雑誌等で発表させていただきます。その際は患者さんを特定できる個人情報を利用しません。

【研究の目的】

人工血液透析におけるシャントなどのバスキュラーアクセス管理において、超音波検査装置を用いたエコーガイド下穿刺は誤穿刺を減少し患者さんの苦痛を軽減するだけでなく、シャント閉塞の事前発見やトラブル回避に有用な手法です。

原三信病院では、2023年から「シャントチーム」を立ち上げ、シャント閉塞を事前に発見するなど、バスキュラーアクセス管理に努めています。しかし、エコーガイド下穿刺が可能なスタッフが限られており、安全な人工透析運営を行うためにはエコーガイド下穿刺が実施可能なスタッフを増やす必要があります。そこで、統一した知識と技術の習得を目的として、2023年からエコーガイド下穿刺の教育マニュアルを作成し、穿刺歴が浅くエコーガイド下穿刺未経験の臨床工学技士（CE）および看護師を対象に教育を開始しました。

本研究では、教育マニュアルのスケジュールに沿った指導を受けた呉服町腎クリニックに勤務の看護師を対象に、教育マニュアルでの教育が統一した手技の習得や穿刺技術の向上、苦手項目の可視化などにつながるかを後ろ向きに検討し、教育マニュアルの妥当性や課題について検証することを目的とします。

【研究の方法】

教育マニュアルに沿ってエコーガイド下穿刺の教育を行う指導者は、それぞれ穿刺歴8年、10年、18年の臨床工学技士とし、事前に穿刺手技の再確認のためハンズオンセミナーを受講します。指導者は、穿刺歴が浅くエコーガイド下穿刺未経験の看護師を対象に、エコーガイド下穿刺の教育マニュアルのスケジュールに沿って統一した教育を行い、評価シートにより対象者の手技の習得度等の評価を行います。また、対象者が穿刺を行った患者さんのカルテから、誤穿刺、シャント閉塞などの

イベント回数を抽出し、誤穿刺率の集計等を行い、エコー下ガイド穿刺技術の習得の評価を行ないます。

【研究の対象者】

- ・ 穿刺歴 1 年・エコー下穿刺未経験の看護師
- ・ 上記の者で、教育マニュアルに沿った教育を受けた者

【研究に用いる情報・試料】

■カルテ情報：

対象者が穿刺を行った患者さんの誤穿刺の回数、シャント閉塞の回数など

■対象スタッフの情報：

年齢、職種歴、穿刺歴など

【個人情報の保護について】

カルテから診療情報の一部を収集しますが、患者さん個人を特定する情報（氏名、生年月日、カルテ番号等）はすべて匿名化し利用するため、個人情報が漏れることはありません。

【利益相反について】

本研究を行う上で企業等からの資金の提供はなく、利益相反はありません。

【倫理審査について】

本研究は、原三信病院の「臨床研究倫理審査委員会」で審査され、実施について承認されています。

【診療情報の利用をご了承いただけない場合・お問い合わせについて】

ご自身（またはご家族）の診療情報を研究に使用しないでほしいと希望される場合は、研究への利用をいたしませんので、下記の「研究の問い合わせ先」までご連絡ください。また、本研究に関する研究計画書などの資料の閲覧希望やその他のお問い合わせの場合も、下記の「研究の問い合わせ先」までご連絡ください。

【研究の問い合わせ先、担当者】

研究責任者：原三信病院 臨床工学科 氏名 永田 詢弥

連絡先：〔TEL〕 092-291－3434 〔FAX〕 092-291－3424